

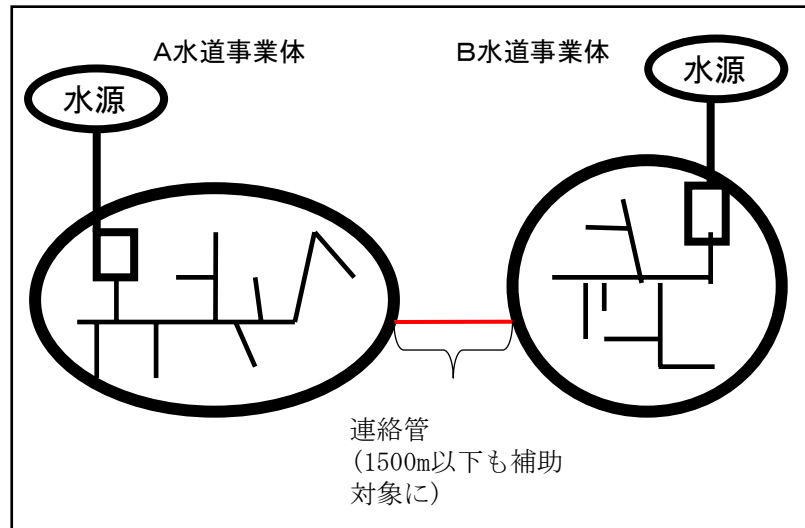
レビュー(災害対策等の充実)

【主要施策3】相互連携、広域化による面的な安全性の確保

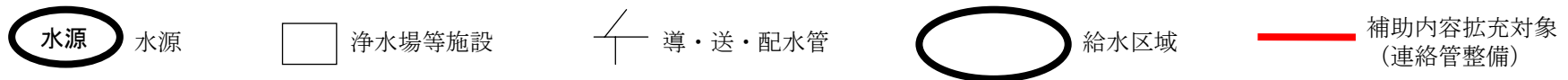
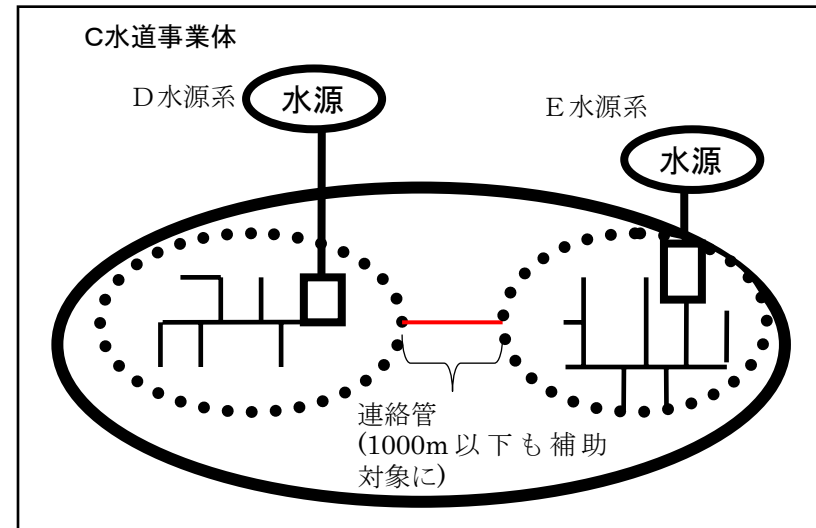
【進捗状況】

国庫補助制度の拡充等

①広域圏域の間、近隣の水道事業体等の間



②同一の水道事業体内(系列間の連絡管に限る)



緊急時に水道事業体間等で水の総合融通を行うための緊急時用連絡管の整備を図るため、平成20年度の国庫補助内容の拡充を要求している。

レビュー(災害対策等の充実)

【主要施策3】相互連携、広域化による面的な安全性の確保

応援協定

行政・水道の区分	地域区分	応援協定の種類
行政	全国	大都市間の相互応援協定(14市)
		中核市間の相互応援協定(35市)
		全国青年市長会の会員都市間の相互応援協定(56市区)
		義士親善友好都市間の相互応援協定(26市区町)
		東海道五十三次市区町間の相互応援協定(19市区町)
		その他の相互応援協定(姉妹都市・友好都市間等)
	地方内	地方内等の広域相互応援協定
		知事会のブロック内都市間の相互応援協定
		その他の相互応援協定(地方都市間等)
	県内等	県内等の広域相互応援協定
		その他の相互応援協定(近隣市町間等)
水道	全国	大都市水道局間の相互応援協定(13水道局)
		その他の相互応援協定(地方都市水道事業者間等)
	地方内	(社)日本水道協会の地方支部の相互応援協定
		その他の相互応援協定(地方都市水道事業者間等)
	県内等	(社)日本水道協会の県支部内の会員相互応援協定
		その他の相互応援協定(県内、近隣市町水道事業者間等)

レビュー(災害対策等の充実)

【主要施策3】相互連携、広域化による面的な安全性の確保

【今後の課題】バックアップ水量の確保の取り組み

状 況

- ・ バックアップ率は11%（指標の定義についての検討が必要）
- ・ 緊急時用連絡管の整備事業について検討を実施

目 標：バックアップ率40%

今後の対応は？

- ・ 緊急時用連絡管の整備事業など補助制度の活用を指導、助言するなど、バックアップ率を上げていく必要がある。
- ・ 全国一律のバックアップ率ではなく、地域の実情や特性に応じて計画的に必要なバックアップ量を確保することが必要ではないか。

レビュー(災害対策等の充実)

【主要施策4】災害発生時の事後対策の充実

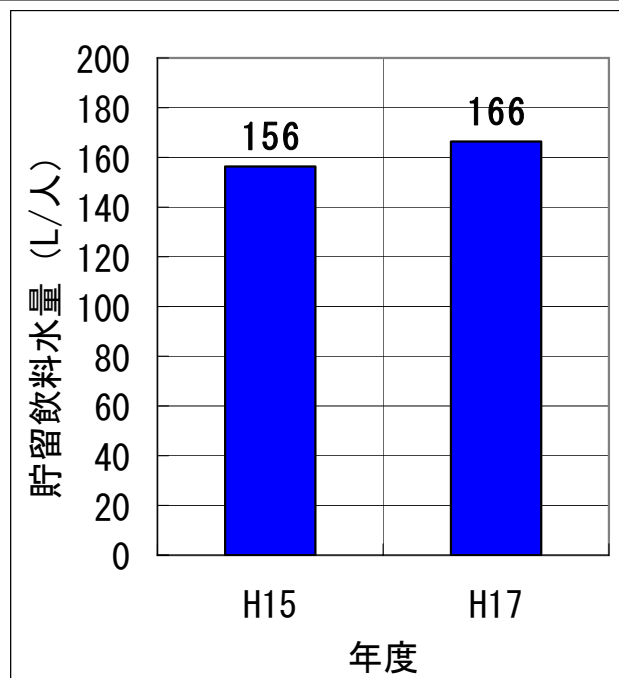
【施策目標】すべての事業で応急給水目標量確保

○給水人口一人当たり貯留飲料水量 (L/人) 【PI 2001】

$$\frac{\text{配水池容量の1/2と緊急貯水槽全量の合計容量}}{\text{給水人口}} \times 1,000$$

給水人口一人当たりの貯留飲料水量とは、
給水人口一人当たり何Lの水が常時貯められて
いるかを示す

給水人口一人当たり貯留飲料水量の状況



「給水人口一人当たりの貯留飲料水量」は、着実に増加している

出典：厚生労働省健康局水道課

レビュー(災害対策等の充実)

【主要施策4】災害発生時の事後対策の充実

【今後の課題】すべての事業で応急給水目標量確保

状 況

- ・ 給水人口1人当たりの貯留飲料水量をみると、平均では、すでに10日分以上の応急給水量を確保している。
- ・ 一方、貯留している配水池の耐震化率は20%（容量ベース）に過ぎない。

目 標：すべての事業で応急給水目標量確保

今後の対応は？

- ・ 貯留している配水池について耐震化を進めていく必要があるのではないか。
- ・ 迅速、円滑な応急給水を実施するために、すべての事業体において応急給水計画が策定される必要がある。
- ・ 水道事業者において応急給水計画や応急復旧計画を含む総合的計画を策定するためにも、危機管理対策指針（地震対策マニュアル）などを参考に、引き続き計画の策定に向けた指導を図っていく必要がある。

レビュー(災害対策等の充実)

【主要施策4】災害発生時の事後対策の充実

【施策目標】すべての事業で応急復旧体制を整備

○災害対策に係る各種計画・マニュアルの策定、防災訓練実施頻度の状況

災害対策に係る各種計画・マニュアルの策定、防災訓練実施頻度の状況

計画・マニュアルの策定状況	H15策定率 (%)	H17策定率 (%)
応急給水計画の策定状況		34.1
応急復旧計画の策定状況		29.9
応急復旧の目標期間設定状況		44.0
応急給水・応急復旧協定締結状況	37.0	55.5
応急給水・応急復旧協定締結状況（県内の水道事業者との協定）		41.6
応急給水・応急復旧協定締結状況（県外の水道事業者との協定）		17.0
応急給水・応急復旧協定締結状況（他の行政部局との協定）		11.1
応急給水・応急復旧協定締結状況（応急復旧業者との協定）		28.2
応急給水・応急復旧協定締結状況（その他との協定）		11.2
危機管理マニュアルの策定状況		54.0
危機管理マニュアルの策定状況（地震対策マニュアル）	46.3	39.7
危機管理マニュアルの策定状況（水質事故対策マニュアル）	29.7	33.9
危機管理マニュアルの策定状況（設備事故対策マニュアル）		22.8
危機管理マニュアルの策定状況（管路事故対策マニュアル）		24.1
危機管理マニュアルの策定状況（停電事故対策マニュアル）		24.8
危機管理マニュアルの策定状況（テロ対策マニュアル）	14.8	19.1
危機管理マニュアルの策定状況（渇水対策マニュアル）	16.2	22.5
危機管理マニュアルの策定状況（その他対策マニュアル）	10.5	20.4
防災訓練の実施頻度	H15実施率 (%)	H17実施率 (%)
防災訓練の実施頻度		50.8
防災訓練の実施頻度（地震訓練）		39.4
防災訓練の実施頻度（風水雪訓練）		11.4
防災訓練の実施頻度（施設事故訓練）		11.4
防災訓練の実施頻度（水質事故訓練）		9.0
防災訓練の実施頻度（その他訓練）		18.7

○応急給水計画の策定状況 (%)

=A/B×100

A：応急給水計画策定事業数

B：全事業数

○応急復旧計画の策定状況 (%)

=A/B×100

A：応急復旧計画策定事業数

B：全事業数

○応急給水・応急復旧協定締結状況 (%)

=A/B×100

A：応急給水計画策定事業数

B：全事業数

○危機管理マニュアル策定状況（地震） (%)

=A/B×100

A：地震対策マニュアル策定事業数

B：全事業数

○防災訓練の実施頻度 (%)

=A/B×100

A：防災訓練実施事業数

B：全事業数 BBA

出典：厚生労働省健康局水道課、水道ビジョンフォローアップ調査（全国上下水道コンサルタント協会）、水道ビジョン基礎データ集（全国上下水道コンサルタント協会）

応急復旧体制を整備していない水道事業者が多く見られる

レビュー(災害対策等の充実)

【主要施策4】災害発生時の事後対策の充実

【進捗状況】すべての事業で応急体制を整備（復旧体制）

水道の危機管理対策指針策定調査報告書 を水道課HPに掲載し、マニュアル策定を推進

地震対策マニュアル策定指針

風水害対策マニュアル策定指針

水質汚染事故対策マニュアル策定指針

施設事故・停電対策マニュアル策定指針

管路事故・給水装置凍結事故対策マニュアル策定指針

テロ対策マニュアル策定指針

渇水対策マニュアル策定指針

災害時相互応援協定策定指針

レビュー(災害対策等の充実)

【主要施策4】災害発生時の事後対策の充実

【施策目標】すべての事業で応急体制を整備（復旧体制）

状 況

- ・ 災害対策に係る各種マニュアルの整備が十分ではない状況。
- ・ 新潟県中越沖地震の応急給水で、給水応援体制について効率的でない部分も見られた。
- ・ 新潟県中越沖地震における応急復旧において、早期に復旧目標を提示できたことにより、被災者等の理解を得ることにつながった。

目 標：すべての事業で応急体制を整備（復旧体制）

今後の対応は？

- ・ 災害対策に係る各種マニュアルの整備、緊急時給水拠点の確保など、常時からの応急対策の整備について一層指導を図っていく必要がある。
- ・ 応急給水や応急復旧における応援体制についてより効率的に実施できるよう見直しを図る必要があるのではないか。